

れいわ ねんど
令和3年度

ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業
じゆんかいこうえんじぎょう
—巡回公演事業—

きょうしつ
こどもらくご教室

ふたかわしょうがっこうよせ
「二川小学校寄席」

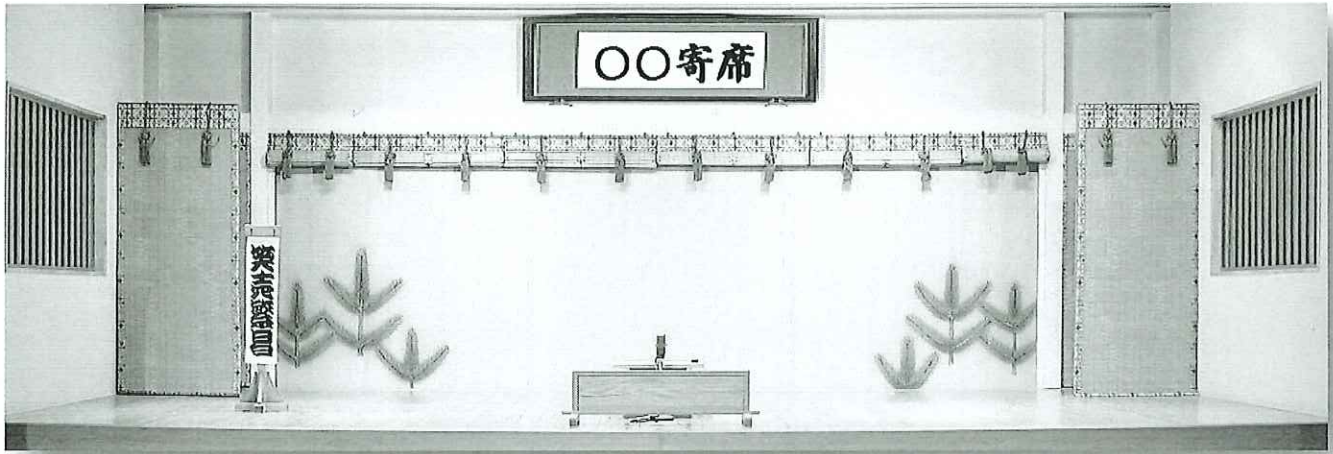


ぶんかげいじゆつ こどもいくせいそうごうじぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 -巡回公演事業-」

わくに いちりゅう ぶんかげいじゆつだんたい しょうがっこう ちゅうがっこうなど こうえん こども
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等などにおいて公演し、子供たちが
すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう きかい え こども はっそうりよく
優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション
のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく こうじょう
ン能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを
もくてき
目的としています。

じぜん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演
では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。





「プログラム」

らくごかいせつ

一、落語解説

よせばやし

一、寄席囃子の

かいせつ

解説

かみがたらくご

一、上方落語

一、ジャゲリング

かみがたらくご

一、上方落語

みんなで体験する時間もあるよ
たいけん じかん

(順番が入れ替わる事もあります)

〇マメ知識

「寄席」

落語を中心とする日本の演芸が演じられる専門の劇場のこと
らくご ちゆうしん にほん えんげい えん せんもん げきじょう
です。今日は、1日だけの「三川小学校寄席」の始まりです。
きょう にち ふたかわしょうがっこうよせ

「上方落語」

上方(大阪・京都)を中心に演じられる落語。江戸時代の中頃に
かみがた おおさか きょうと ちゆうしん えん らくご えとじたい なかごろ
始まりました。最初は神社などで外で、人気役者のものまねや短
はじ さいしょ じんしゃ すと じんきやくしゃ みなが
い笑い話から始まり「辻ばなし」とも呼ばれました。道行く人
わら ばなし はじ 辻ばなし とよ 呼ばれました。みちゆく人
の関心を引き、足をとめてもらうために、鳴り物(楽器)の演奏
かんしん ひき あし とめてもらうために、なりもの(がっき) えんそう
が入り、にぎやかな演目が多いのが特徴です。
はい 入 り にぎやかな えんもく 多いのが特徴です。

「扇子と手ぬぐい」

小道具は2つだけです。涼をとるための扇子と、手や顔をふい
こどうぐ 2つだけです。涼をとるための せんす と、手や顔をふい
たりする手ぬぐいです。扇子は筆やキセル(たばこを吸う道具)
たりする 手ぬぐい です。 せんす は 筆 や キセル (たばこを吸う 道具)
を表現したり、刀や釣り竿など、もつと長い物を表現すること
ひょうげん たり、 刀 や 釣り竿 など、 もつと 長い 物を 表現 する こと
もあります。手ぬぐいはお財布や帳面(ノート)などを表現し
も あり ます。 手ぬぐい は お財布 や 帳面 (ノート) など を 表現 し
ます。

このように別の物を表現することを、「見立てる」と言います。
このように 別の 物を 表現 する こと を、「見立てる」と 言います。

きょう しゅつえんしゃ
今日の出演者



かつら きんしろう
(落語) 桂 三四郎



かつら くざ
(落語) 桂 九雀



つぎやい しゅうと
(落語) 月亭 秀都



かつら づもん
(落語) 桂 沼門



きぬぐ
(三味線) はやしや 絹代



わたなべ
(ジャグリング) 渡辺 あすら

制作



公益社団法人上方落語協会

大阪市北区天満4丁目12番7号

TEL06-6354-7727 FAX06-6354-4433

<https://kamigatarakugo.jp/>



「てんまてんじんはんじょうてい天満天神繁昌亭」

がくもん かみさま ゆうめい おおさかてんまんぐう 学問の神様で有名な大阪天満宮のすぐ北側には、
まいにちらくご じょうえん らくごせんもん げきじょう 毎日落語を上演している落語専門の劇場があり
おおさか ちゅうしん かつやく にんいじょう かみがた ます。大阪を中心に活躍する 200人以上の上方
らくごいえ しゅつえん ぶたい いろいろ らくご 落語家が出演しています。舞台では色々な落語や
げいのう えん れんじつおお きやく おおわら 芸能が演じられ、連日多くのお客さんが、大笑い
して楽しんでます。

おおさか 大阪に来ることがあれば、たちよ お立寄りください。